
あり得たかもしれない出来事

八つ橋うい郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あり得たかもしれない出来事

【Nコード】

N1250Q

【作者名】

八つ橋うい郎

【あらすじ】

（作者の執筆中作品で特別編として書いたのですが、その作品との関係が薄かったので独立させました。）

もしかしたら、こんな事があったかもしれない、そんな妄想。

「キヤアアアアア！」

「逃げる！ 逃げる！ 逃げるおおおお！」

「うひいひいひい！？」

「ヨ、ヨシツーナ ガ キータヨー！」

ミッドチルダ上空に突如現れた、無敵戦艦『良綱』。

全宇宙最強のこの戦艦の前に、為す術も無く撃墜されていく時空管理局の艦隊。

絶望の象徴は良綱だけではなかった。

「ぎゃあああああ……！」

「うわあああああ……！」

逃げ惑う市民が、立ち向かう魔導士が、塵も残さず消えていく。

「どうして……？ どうしてこんなことをするの！？ 目を覚まして！ なのはああああ……！」

フェイトの悲痛な叫びは、暗く濁った桜色の閃光の中に消えていく。

「……………」

その様を、閃光を放った張本人 高町なのはは、虚ろな目で見ていた。

事の発端は一週間前。なのははとある無人世界で見つけたロスト
ロギアの回収任務に当たっていた。

「これが目的のロストロギア……、何だか、凄く怖い感じがする……」

それはどす黒いオーラを放つ球体だった。なのははおろか、デバイスであるレイジングハートでさえも恐怖を感じる、不気味な球体。

《早く封印してしましましょう》

「そうだね」

封印処置を施そうとしたその時、突然球体が浮かび上がり、なのはの中に入り込んだ。

「うっ！？ くうううっ！ うあああああああ……っ！」

《マスター！？ マス…… # * £ @ # …… 》

球体の尋常ならざる魔力になのはは叫びを上げ、レイジングハートはAIを浸食され物言わぬ杖となった。

「……………」

そして苦痛が消えた後、なのはは、否、なのはの姿をした何かは、いずこかへと姿を消した。

話は変わるが、宇宙には超魔王パールと言う存在がいる。並みの魔王では千人がかりでも適わない最凶最悪の存在が。

質の悪いことに、パールには万一敗れた時、魂だけを別の世界に転

移させ、その世界で最も強い生物の体に乗っ取るといった性質がある。そう、あのロストロギアは、バールの魂だったのだ。

とある魔王に敗れたバールは転移した無人世界で力を蓄え、その世界に足を踏み入れた強い力を持つ生物、すなわちなのはの体に乗っ取り復活を遂げた。

高町なのは改め超魔王なのはバールは良綱を連れミッドチルダを襲撃、陥落させ、これを皮切りに次々と他の管理世界、管理外世界、そして魔界を席卷していった。

良綱は破壊されたが、なのはバールに傷を付けることが出来た者は誰もいなかった。

バール復活から数百年の時が流れたある日、ある魔界。

「……………」

「ようやく見つけたぞ、超魔王バール！」

なのはバールと対峙する赤髪の大男。

なのはバールに匹敵する魔力を持つ、宇宙最強魔王ゼタ。

「貴様を倒し、我は真の宇宙最強となるのだ！」

「そうはさせんぞ、ゼタ！」

「何っ！？ この魔力は……………！」

時空ゲートが開き、赤いマフラーをした少年が現れた。

「ソイツはオレ様の獲物だ！」

かつて超魔王バールを打ち倒した、魔王ラハール。

「あの時は取り逃がしたが、今度こそ貴様を討ち滅ぼし、オヤジの無念を晴らしてやる！」

「フン！ ならば早い者勝ちだ！」

「よかるうー！」

ゼタとラハールが大剣を、なのバールがレイジンググハートを構える。

「……………」

「「いくぞおおおおおおおつ！ 超魔王バールウウウウツ！」

ゼタ、ラハール、そしてなのバール。

三人の魔王による三つ巴の戦いの結末は、誰も知らない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1250q/>

あり得たかもしれない出来事

2011年1月15日21時34分発行